

ICANN | ビジネス向け



ICANN | 53



ブエノスアイレス

2015年6月21～25日

ビジネスダイジェ



ビジネスダイジェストを発行する目的

このダイジェストはICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers) の公開会議の主な内容をまとめたもので、ICANNの成果が及ぶ広範な業界のステークホルダーに向けて、ビジネス界の方々に分かりやすくまとめた非網羅的なダイジェストです。ご意見やコメントは、ICANNのビジネス推進チーム (businessengagement@icann.org) までお寄せください。

ビジネスがICANNの活動、インターネットガバナンス、およびビジネス界の参加に関する情報を継続的に得ることができるように、情報提供と関心あるビジネスリーダーとの継続的な意見交換のためのオンラインスペースとして、Webサイト (icann.org/forbusiness) およびTwitter (@ICANN4biz) がビジネスダイジェストの補足となります。また、ICANN公開会議の動向とビジネス部門部会の役割について、ビジネス界からの新規参加者向けにICANN 53開催前に実施されたウェビナーは、[こちら](#)で聴くことができます。

皆様の積極的なご参加とご意見をお待ちしております。

ICANNに初めて参加する方は、

- [ICANNの新規参加者向けプログラム](#)をご覧ください。
- ICANN会議での新規参加者の体験を、[ICANN 53の新規参加者向け歓迎セッション](#)のレコーディングとプレゼンテーションで経験できます。
- ICANNのオンライン学習プラットフォームで、導入コースを受講できます。[ICANN Learn](#)
- 頭字語の意味と定義は、[ICANN用語集](#)をご覧ください。

要約

ICANN 53公開会議は、2015年6月21～25日にアルゼンチンのブエノスアイレスで開催されました。ICANNの中南米カリブ海地域（LAC）の活気あるコミュニティによって10以上のセッションが開催され、これまででもっとも地域に焦点を当てた会議の1つとなりました。開催されたセッションの詳細は、[LAC参加者ガイド](#)をご覧ください。

LACからのイベントへの参加者は、中南米の2か国を除く29か国に上りました。LACからの参加者数は全体の27.9%を占めました。

ICANN 53での活発な地域活動に関する詳細は、最新の[ICANN LACニュースレター](#)をご覧ください。

その他の主要ポイント

- ICANN 53では、IANA（Internet Assigned Numbers Authority）の監督権限の移管、およびICANNの説明責任プロセスの強化に関して、広範なコミュニティの討議が行われました。プロセスの残りの段階に基づき、移管は2016年の夏の終わりまでに完了すると見込まれます。
- 新ジェネリックトップレベルドメイン（gTLD）プログラムの審議は本格化しています。ICANNグローバルドメインディビジョン（GDD）は、プログラムの実施、権利保護メカニズム、およびCCT（競争、消費者の信頼、消費者の選択）を含む複数の審議領域について、データ分析を行っています。
- ユニバーサルアクセプタンス運営グループ（UASG）は、綱領を採択し、新TLDの受け入れの問題への取り組みをさらに前進させるための最初のプロジェクトを設置しました。
- Whois関連の問題への関与は、特に民間部門で引き続き重大トピックとなっています。最近発表された[プライバシーおよびプロキシサービス認定問題（PPSA I）ワーキンググループの最初のレポート](#)については、ブエノスアイレス会議で盛んに討議されました。

これらのトピックの詳細については、以下のセクションをご覧ください。

IANA監督権限移管に関する討議

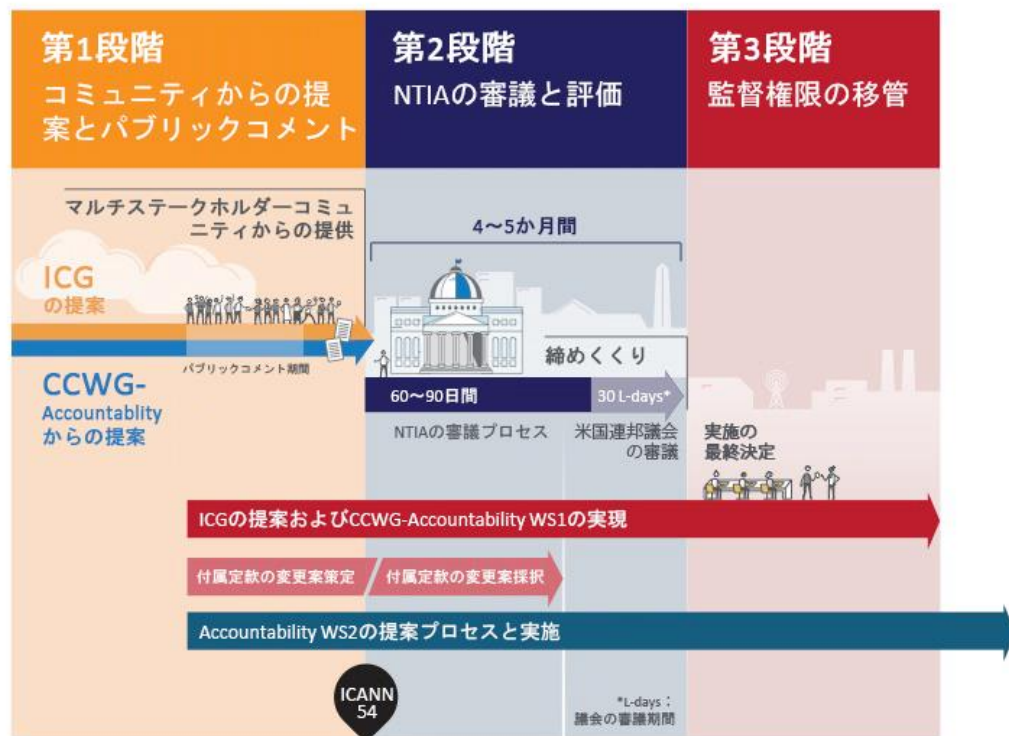
2014年3月に米国電気通信情報局（NTIA）がIANA機能の監督権限をグローバルマルチステークホルダーコミュニティに移管する意向を**発表**してから、IANA機能の監督権限の移管とICANNの説明責任プロセスの強化に関するコミュニティの活動を推進させる上で、ICANN会議は重要な役割を果たしてきました。ICANN 53も例外ではなく、移管プロセスに関して11のセッションが行われました。IANA監督権限移管調整グループ（ICG）、IANA監督権限移管における命名関連機能についての提案策定に関するコミュニティ間ワーキンググループ（CWG-Stewardship）、および説明責任に関するコミュニティ間ワーキンググループ（CCWG-Accountability）はいずれも、ワーキングセッションとともにタウンホールセッションやエンゲージメントセッションを開催しました。

ICANN 53では、命名関連機能についてのCWG-Stewardshipの最終提案が、同グループを構成する5つの組織（政府諮問委員会（GAC）、セキュリティと安定性に関する諮問委員会（SSAC）、ジェネリックドメイン名支持組織（GNSO）、国コードドメイン名支持組織（cNSO）、および諮問委員会（ALAC））すべてからの承認を受けて、ICGに送られました。

ICGは、命名についての提案の審査をすでに完了し、IANA監督権限移管提案に対するパブリックコメントの募集を**発表**しました。パブリックコメントの募集期間は2015年9月8日までです。

CCWG-Accountabilityは、ワークストリーム1の必須コンポーネントに関するコンセンサスを得るためにフランスのパリで行われていた会合を最近締めくくりました。話し合われた主要課題と合意された次のステップの概要は、「ICANN説明責任に関するコミュニティ間ワーキンググループのパリ声明」にまとめられています。

CCWGは現在、ICANN説明責任フレームワークの強化に関する第2草案について、コミュニティからのフィードバックを受け付けています。パブリックコメントの期間は、2015年9月11日までとなります。



詳細：IANA監督権限移管とICANNの説明責任の強化

- ビギナー向け：「DNSの民営化：IANA監督権限移管に関するホワイトペーパー」をご覧ください。また、「IANA監督権限移管プロセスの相互関係のアニメーション」ビデオも視聴できます。
- サマンサ・ディッキンソン氏の「ボリューム8：IANA監督権限移管の討議に関する最新情報」をご覧ください。
- 米国商務省電気通信情報局（NTIA）からグローバルマルチステークホルダーコミュニティへのIANA（Internet Assigned Numbers Authority）機能の監督権限移管の提案に対する[パブリックコメント用Webサイト](#)
- ICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキンググループのレポートの第2草案（ワークストリーム1）に対する[パブリックコメント用Webサイト](#)

ICANN 53の開会式と理事長によるオープニングセッションのまとめ

ICANN 53の開会式で、スティーブ・クロッカー理事会議長はICANNにおける変化、特にIANA監督権限移管とマルチステークホルダーのアプローチに伴う変化について強調しました。また、移管の課題とともにICANNの説明責任にも触れ、責務遂行と説明責任を可能な限り果たすべく前進することがICANNの共有目標であると理事会が認識している点について述べました。クロッカー氏は、ICANNコミュニティが近く新しい理事長兼CEOを迎えることを踏まえて、ICANNの長期的安定の重要性についても簡単に言及しました。

次のスピーカーは、Network Information Center (NIC) Argentinaの最高経営責任者であるガブリエル・ブレンタ氏でした。ブレンタ氏は、NICが直面している変化、マルチステークホルダーアプローチによりアルゼンチンにおけるインターネットの基準点になるべくNICが努力していることについて述べました。この新しいアプローチにより、NICはICANNがコミュニティの権限強化を推進してきたのと同様に、コミュニティをプロセスに巻き込むことに成功しました。

インドの通信・情報技術大臣を務めるラヴィ・シャンカル・プラサード氏は、インターネットコミュニティ内の多様性と分離、特に先進国と発展途上国の問題について情熱的な講演を行いました。プラサード氏は、デジタルデモクラシーの重要性、そしてあらゆる人々がインターネットを利用でき、アクセスできなければならない点を共有しました。

ICANNのポリシー策定担当副理事長であるデイヴィッド・オリーブ氏は、今年のマルチステークホルダー理念賞の受賞者2名を紹介しました。シェリル・ラングドン=オア氏とニイ・キーナー氏は、マルチステークホルダーモデルへの際立った取り組みが認められました。



開会式の締めくくったICANN理事長兼CEOのファディ・チャハデ氏は、2016年3月の任期終了後も継続的にICANNの取り組みに参加し、関与していくことを表明しました。チャハデ氏は、ICANNの移管と将来について考慮すべき重要領域として、次の3点を強調しました。

1. ICANNの継続的な改善 - 移管の準備を保証すること
2. コミュニティに対する継続的な支持
3. 技術コミュニティとの結束

グローバル ドメイン ディビジョン

GDDの作業は、新gTLDをすでに申請したブランドや将来の申請を検討中のブランドを含めて、企業にとって重要です。新gTLDで名前を登録することによりオンラインビジネスを拡大していくことを検討している企業も、GDDの作業を見守っています。

ICANN 53に先立ち、グローバルドメインディビジョンのプレジデントであるアクラム・アタラ氏は「[ICANN 53 : ブエノスアイレス - グローバルドメインディビジョン \(GDD\) セッションのハイライト](#)」という記事をブログに投稿しました。会議に出席できなかった方々も、大きな関心を集めた以下のセッションについて詳細を確認できます。

新gTLDプログラムの審議

近年におけるインターネット空間のもっとも重要な出来事の1つである新gTLDプログラムの機運は、引き続き高まってきています。2015年7月17日時点で、700の新gTLDがインターネットに導入され、新gTLDでのドメイン名登録は600万件を超えています。

ICANNは現在、当初の目標を踏まえてプログラムを評価するために、新gTLDプログラムの一連の審議にリソースを重点的に投入しています。

[ICANN 53での公開会議](#)は、各審議のステータスに関する概要、および現在焦点が当てられている審議要素の詳細情報が提供され、質疑応答が行われました。

これまでの主要な進展としては、ICANNが初めて実施した[ドメイン名システムに関するグローバルな消費者調査](#)の結果発表、および[権利保護メカニズム \(RPM\)](#)の審議の草案が挙げられます。

詳細：新gTLDプログラムの審議

- [ビギナー向け：プログラムの審議ページ](#)をご覧ください。

次回の新gTLDプログラムに関する情報提供に役立つ活動への参加および支持のための、関連のレポート、草案、およびパブリックコメントフォーラムのリンクが掲載されています。これらの審議を成功させる上で、インターネットコミュニティからの全面的な参加と意見提供が重要です。

- [新gTLDプログラムの審議と評価に関する作業計画案の更新](#)
- [カレン・レンツ氏のブログ投稿：「新gTLDプログラムの審議：データの収集と分析」](#)

ユニバーサルアクセプタンス

ICANNの新gTLDと国際化ドメイン名のプログラムにより、非ASCIIスクリプト（キリル文字、アラビア文字、漢字など）を含む多数の新トップレベルドメインをインターネットに追加できるようになっています。新TLD、国際化ドメイン名、および国際化電子メールは、日常的に使用されているアプリケーションやサービスの多くでは適切に機能しません。

2015年2月、コミュニティのメンバーが結集してユニバーサルアクセプタンス運営グループ（UASG）を設立し、ICANNはユニバーサルアクセプタンスの取り組みにおけるまとめ役を担うことになりました。この運営グループは、新トップレベルドメイン、国際化ドメイン、および国際化電子メールを含むすべての有効なドメイン名と電子メールアドレスについて、そのユニバーサルアクセプタンスを効果的に推進するための活動に取り組みます。

ICANN 52の後、UASGは**綱領**を発行し、最初のプロジェクトグループを結成しました。

- 主要課題と技術的課題
- 国際化
- 測定と監視
- コミュニティへのアウトリーチ

ICANN 53で、UASGは設立以来**最初の対面会合**を開催し、コミュニティに対して現状に関する最新情報を提供して作業へのフィードバックを得るための**セッション**を実施しました。

詳細：ユニバーサルアクセプタンス

- **ビギナー向け：ICANNのユニバーサルアクセプタンス用リソースページ**
このページでは、ユニバーサルアクセプタンスの取り組みの概要、背景情報、役立つリンク、およびFAQを提供します。
- **UASG Wiki**
- **討議に参加**：<https://mm.icann.org/mailman/listinfo/ua-discuss>
ユニバーサルアクセプタンスのトピックに関する討議のリスト。

ポリシーの注目点

WHOIS

WHOISは、「ドメイン名またはIPアドレスの責任者は誰か」という質問のためのシステムです。

ドメイン名を登録するすべての個人、ビジネス、組織、および政府機関は、担当者名と連絡先の情報（名前、住所、電子メール、電話番号、管理および技術の連絡先など）を提供する必要があります。この情報は「WHOISデータ」とも呼ばれます。

ICANNコミュニティは、国際化登録データ、新しいアクセスプロトコル、プライバシーおよびプロキシサービスのためのルール案といった、WHOISに関連するさまざまな難しい課題に取り組んでいます。

ジェネリックドメイン名支持組織（GNSO）のプライバシーおよびプロキシサービス認定問題ワーキンググループによる最初のレポートは、ワーキンググループの一部のメンバーが商取引に使用されるドメイン向けプライバシー/プロキシサービスの禁止事項に関する提案を行ったため、特に大きな注目を集めました。この提案に対して寄せられた多くのパブリックコメントは、レポートがICANNポリシー策定プロセスを経る過程で検討されます。

詳細：WHOIS

- [ビギナー向け：ICANN WHOIS入門ガイド](#)
- [マーギー・ミリアム氏のブログ投稿：「WHOIS：作業の継続的改善」](#)
- [デイヴィッド・オリーブ氏のブログ投稿：「WHOISプライバシーおよびプロキシサービスについて」](#)

セキュリティと安定性の問題

セキュリティと安定性に関する諮問委員会（SSAC）

SSACはICANN理事会により任命された35名のメンバーから構成され、インターネットのネーミング/アドレス割り当てシステムのセキュリティと完全性に関する問題についてICANNコミュニティと理事会に助言します。

SSACは、[ブエノスアイレスでの公開セッション](#)で、2015年に完了する作業に関する活動の最新情報、現在および新しい作業当事者、静的TLD/パブリックサフィックスリストの使用に関する最近の発表（[SAC070](#)）、およびICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキンググループの提案に対するコメント（[SAC071](#)）について情報を提供しました。またSSACは、特にアウトリーチの取り組みに関してコミュニティからのフィードバックを得るために、この機会を利用しました。

詳細：SSAC

- [SSACのランディングページ](#)（ICANNのWebサイト）
SSACの歴史と運営、メンバーシップ、および活動に関する情報を掲載しています。
- [SSACのレポートおよび勧告のリスト](#)
- [5分で分かるSSAC（紹介ビデオ）](#)
- [ソーシャルメディアでSSACをフォロー](#)

DNSSEC

DNSセキュリティ拡張（DNSSEC）は、全面的な実施によってさらなる効果を発揮します。このため、企業によるDNSSECの導入によってインターネットのセキュリティの強化が支援されます。インターネット上で活動するレジストリ、レジストラ、レジストラント、ホスト企業、ソフトウェア開発者、ハードウェアベンダー、政府、ビジネス、および機関、ならびにインターネット技術者および連合は、いずれもこの大規模な取り組みの成功に責任を負います。

ICANN 53では、人気の高い恒例の[DNSSEC for Everybody](#)セッションも行われました。これは、DNSSECについて分かりやすく説明し、ビジネスにDNSSECを簡単かつ迅速に導入する方法を提供するセッションです。1日ばかりで行われた[DNSSECのワークショップ](#)は、DNSSECの導入に携わるレジストリ、レジストラ、およびISPがベストプラクティスを共有するために開催されました。

詳細：DNSSEC

- [ビギナー向け：ICANNリソースページ：DNSSEC - 概要と重要性について](#)
- [DNSSEC導入のメリットに関するVerisignのページ](#)
DNSSEC導入のメリットについて、レジストリ、レジストラ、およびISP向けに説明している、Verisignの便利なマイクロサイトです。

インターネットガバナンスの展望

ICANN 53は、ICANNの権限を越えた広範なインターネットガバナンスでの活動、およびICANNとこれらの広い活動との間のやりとりについて検討する機会となりました。

この会議におけるインターネットガバナンスの公開セッションは、インターネットガバナンスに関するコミュニティ間ワーキンググループ（CCWG）のコミュニティメンバーの協力により企画され、セッションの聴衆が参加できるように、より双方向の形式で行われました。さらに、インターネットガバナンスに関するCCWGは対面会合を開催しました。これらのセッションでは、WSIS+10の審議プロセス（2015年12月に国連で締めくくり）、ブラジルでのインターネットガバナンスフォーラム（IGF）、およびNETmundialイニシアチブなどのトピックが取り上げられました。

詳細：インターネットガバナンス

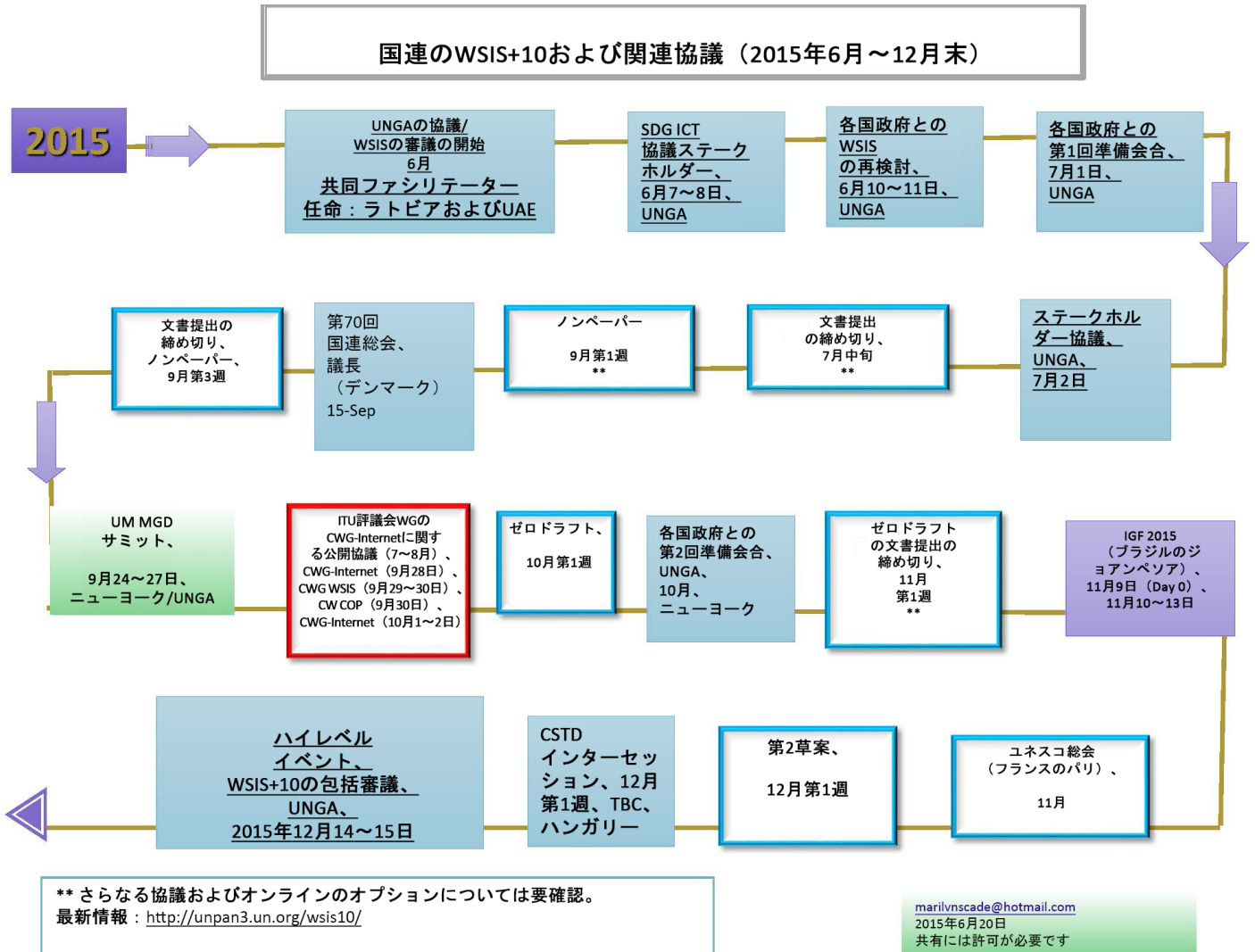
■ **ビギナー向け：インターネットガバナンスのエコシステムにおけるICANNの役割に関する戦略パネルのレポートをご覧ください。**

■ **サンパウロ声明：NETmundialイニシアチブ評議会の設立会合**

NETmundialイニシアチブの調整役となる評議会は、多様なグローバルインターネットステークホルダーで構成され、2015年6月30日にブラジルのサンパウロで設立会合を開催しました。リモートから参加可能なライブのWebキャストとして行われたこのイベントは、これまでの活動と進捗状況を評価し、主要文書を選択し、次のステップについて討議する機会となりました。評議会は、イニシアチブの委任事項（ToR）を選択しました。また、民間部門代表としてアリババグループの創業者であり会長を務めるジャック・マー氏を含む、5名の共同議長を選出しました。

■ 国連のWSIS+10および関連協議

2015年末までのWSIS+10の審議プロセスに関連するすべてのイベントを含む、この非網羅的マップをダウンロードできます。



民間部門の参加コーナー

GNSOの商用ユーザーステークホルダーグループ（CSG）部会

CSGはビジネスユーザーと接続プロバイダーの視点を代表するグループです。このグループの役割は、企業、ユーザー、消費者が高い信頼の下、企業間および企業と消費者の間で取引やコミュニケーションを行う場としてインターネットを発展させるという方向性に沿ってICANNの方針や契約が設定されていることを検証することです。ブエノスアイレスでは、[理事会との会合](#)の形態を改善するため、CSGの3つの部会に個別に時間が割り当てられ、各部会にとってより密接な問題について理事会メンバーとの間で話し合いが行われました。

商用ビジネスユーザー部会（CBUC）

商用ビジネスユーザー部会（CBUC、ビジネス部会、またはBCとも呼ばれます）の公開会議では、ICANNの戦略イニシアチブおよび会合チームのプレゼンテーションも行われました。グループは、WHOIS、ブランドgTLD向けの国/地域名のリリース、GNSOの審議、IANAの監督権限の移管、ICANNの説明責任プロセスの強化などのポリシーに関する課題について、詳細に討議しました。

詳細：BC

- [BCのWebサイト](#)

BCの使命、メンバーシップ、および会議について情報を提供しています。

- [BCニュースレター（2015年6月）](#)

ブエノスアイレス会議でのBCが関心のあるトピックについて概要を紹介しています。

知的財産権部会（IPC）

IPCセッションでは、新gTLDプログラムの審議、契約遵守、およびデジタルサービスに関するICANNスタッフによるプレゼンテーションが行われました。同グループは、次回の新gTLDプログラムの申請についても話し合いました。

詳細：IPC

- [IPCのWebサイト](#)

IPCの情報、意見書、およびニュースを提供しています。

- [IPCのパンフレット](#)

IPCの構成、活動、および関心あるトピックの概要。

- [Twitterで@IPConstituencyをフォロー](#)

ISP・接続プロバイダー部会（ISPCP）

ISPCPの会議では、主としてIANAの監督権限の移管とICANNの説明責任プロセスに焦点が当てられました。また、ISPCPメンバーのクリスチャン・ドーソン氏が新設されたUASGのメンバーでもあることから、ユニバーサルアクセプタンスのトピックが議題の一部として取り上げられました。

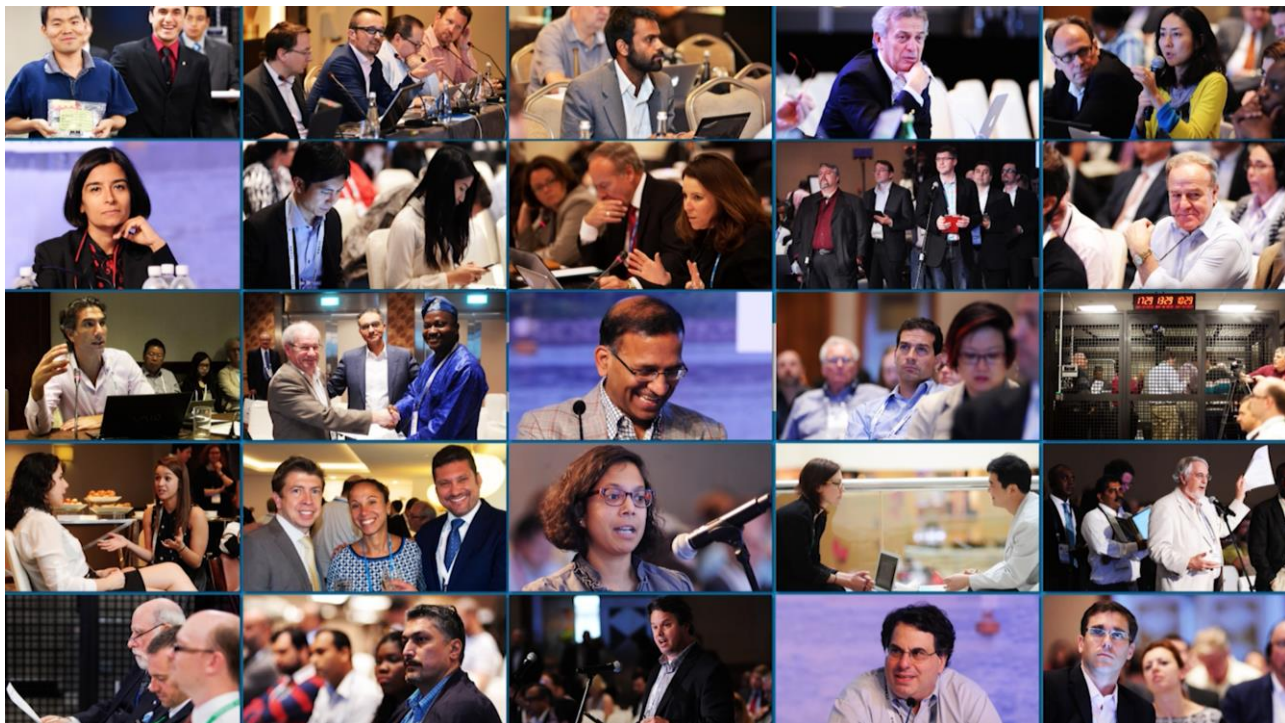
詳細：ISPCP

■ ISPCPのWebサイト

ISPCPの使命、メンバーシップ、ポリシーのリソース、および意見書。

■ ISPCP Bulletin

ISPCPの活動および関心あるトピックの概要。



継続的なつながりと関与

ICANNフェローシッププログラム

ICANNフェローシッププログラムは、発展途上の地域および国における経験を反映させる有識者の広範な基盤を形成するために、それぞれの地域から参加者を募っています。アイルランドのダブリンで開催されるICANN 54公開会議に向けて、36か国から50名のフェローが選出されました。モロッコのマラケシュで開催されるICANN 55公開会議は、2015年9月11日から2015年10月23日までの期間中に申し込みの受け付けが行われます。民間部門からの参加が奨励されます。

詳細：フェローシッププログラム

- [フェローシッププログラムのリソースページ](#)
プログラム、卒業生、各回のプログラムの情報、およびFAQを提供しています。
- [ICANNフェローシップの申請](#)
ICANNフェローシッププログラムへの申請方法について説明しています。

ICANNオンライン学習プラットフォーム

ICANN Learnは、[ICANN 48](#)で立ち上げられました。この無料の公開オンライン学習プラットフォームは、新しい参加者に対して基礎知識とICANN組織に関する知識を共有する場を提供することにより、知識を身につけたICANNステークホルダーの裾野を広げることを目的としています。ICANN学習システムをできるかぎり有用なものにしていくために、ご意見とご要望をお寄せください。ビジネスからの参加者向けの導入コースは、現在開発中であり、2015年に提供予定です。

learn.icann.orgでは、アカウントを作成し、コースに登録して、学習を開始できます。

ICANNの最新情報とニュースレター

- [ICANNのポリシー策定に関する毎月の最新情報](#)
- [ICANNのニュースレターとアラート](#)
- ソーシャルメディアのフォロー：
 - [Twitter : @ICANN4biz](#)
 - [SlideShare](#)



1つの世界。1つのインターネット。

[ICANN.ORG/FORBUSINESS](https://www.icann.org/forbusiness)